

節分 立春 季節は春です

今年の1月は何度か雪も積もり、昨年と比べてとても寒い日が多かったように思います。校長室に生け花を飾ってもらっていますが、梅の枝から可愛い花が咲くようになりました。梅の花は百花の魁(さきがけ)と言われています。百あるたくさんの花の中で梅の花が1年で最初に咲く花という意味です。春の花と言えば今は桜ですが、昔は梅の花でした。季節は暦の上ではもう春です。

2月4日にあった全校朝会(放送)でした話です。

この前の2月2日は何の日だったか知っている人はいますか。

そうです。「節分」です。豆まきをしたり海苔巻きのおすしを食べたりした人も多かったのではないかと思います。

節分という字は「季節を分ける」と書きます。つまり節分は季節の分かれ目なのです。季節は春夏秋冬とありますが、2月3日から季節は何になるのでしょうか。昨日2月3日は立春といい、「春が立つ」と書きます。まだまだ寒い日が続いていますが、暦の上では季節はもう春なのです。

ちなみに、立春の日が2月3日、節分が2月2日になるのは、明治30年(1897)2月2日以来124年ぶりとのこととても珍しいようです。

では、どうして節分では豆をまくのでしょうか。

春は季節のはじまりであり、1年の始まりでもあります。昔は立春は、1年の始まりの日なので、今で言うとお正月みたいな日だったのです。そうすると節分は、1年の最後の日、つまり大晦日のような日になります。昔の人は、病気や悪いことが起きるのはすべて鬼の仕業だと考えていました。そして、豆には鬼を退治する効果があるといわれていました。つまり、「1年の最後の日に悪いことをする鬼を退治して新しい年を迎え、病気になったり悪いことが起きたりしないように」という願いを込めて豆をまいたのです。

家で豆まきをした人も多かったと思います。鬼滅の刃に出てくるキャラクターのお面をつけて豆まきをした人もいると思いますが、家や自分の心の中から悪い鬼を退治してほしいと思います。どんな鬼かというと、学校たいぎいから休んじゃおうかな鬼、授業中おしゃべりしたくなっちゃう鬼、宿題めんどくさい鬼、ゲームがやめられない鬼、すぐに友だちとケンカしちゃう鬼、誰も見ていないからさぼっちゃおう鬼、そんな心の中の鬼を退治してほしいと思います。コロナのこともあり、普段どおりにできないこともありますが、新しく始まる1年を笑顔で過ごせる年にしてほしいです。

3学期授業がある日が残り32日、6年生は29日となりました。手洗い、うがい、消毒やマスク着用など感染対策をしっかりと行い健康に気をつけ、一日一日を大切にして、残り少ない3学期をなかまと一緒に元気に過ごしてください。



© dak